

コース名	ゼロIコース
科目名	簿記
回数	1回

5	枚中	1	枚目
サイン	#111		

ゼロIコースの予定

- 第1回 現金、預金(第1章、第2章)
 第2回 債権、債務、手形[★](第3章、第4章)
 第3回 有価証券[★](第5章)
 第4回 固定資産[★](第6章) 第5回 繰延資産、引当金(第7章、第8章)
 第6回 社債[★](第9章)
 第7回 純資産(第10章)

★ゼロIコースで確実におさえてほしい論点。

これから簿記を学習する上での留意点

1. このゼロI～Ⅲコースでは、資格試験に必要な知識を、おおまかにかつ網羅的に学習していきます。
2. 個々の取引(仕訳)にあまりこだわらず、総合問題が解けるような学習を心がけます。
3. 1回解いてわかろうとせず、何回も繰り返して理解するように心懸けて下さい。
 ↑出来なかった部分
4. 総合問題で100点満点を狙うのではなく、いつも合格点が安定的にとれるようバランス感覚を指導しています。

コース名	ゼ" □ I	コース
科目名	簿記	
回数		回

5	枚中	2	枚目
サイン	井川		

第一章 現金

Point 1 現金の範囲

1. 簿記上、現金%で処理されるもの

… 通貨 (硬貨 + 紙幣) + 通貨代用証券

- ex) ① 配当金領収書
② 期限到来済の公社債の利札
③ 他人振出の小切手

2. 現金%で処理されないもの

- ① 収入印紙 … 使ったものは 租税公課%
… 残っているものは 貯蔵品%
- ② 切手・葉書 … 使ったものは 通信費%
… 残っているものは 貯蔵品%
- ③ 長期の先日付小切手 … 受取手形%

Point 2 小口現金の処理

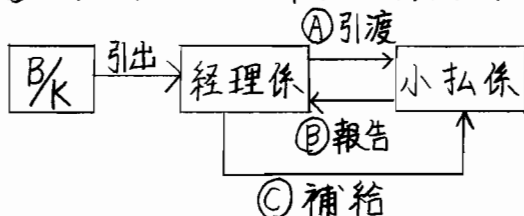
1. 定額資金前渡制度 (インプレストシステム) と不定額資金前渡制度

⇨ 補給後の金額が同じか否かの違い。

2. 補給時期

① 支払報告時 (期末補給), 支払報告の翌日 (期首補給)

② 会計処理 … インプレストシステム



① 引渡時

小口現金 XX / 当座預金 XX

② 報告時

通信費 XX / 小口現金 (XX)

③ 補給時

同額

小口現金 (XX) / 当座預金 XX

コース名	ゼロ工	コース
科目名	簿記	
回数		回

5	枚中	3	枚目
サイン		井川	

Point 3 現金過不足 (ポイントは会計処理の手順)

① 帳簿残高と実際残高が不一致のとき

⇒ 帳簿上の残高を実際残高に合わせる。 ↙ 仮勘定

ケース1 帳簿 $10万$ > 実際 $9万$ ⇒ 現金過不足 $\frac{XX}{1万}$ / 現金 $\frac{XX}{1万}$

ケース2 帳簿 $10万$ < 実際 $12万$ ⇒ 現金 $\frac{XX}{2万}$ / 現金過不足 $\frac{XX}{2万}$

② 不一致の原因判明時

ケース1 交際費の計上もれ 交際費 $\frac{XX}{1万}$ / 現金過不足 $\frac{XX}{1万}$

ケース2 売上の計上もれ 現金過不足 $\frac{XX}{2万}$ / 売上 $\frac{XX}{2万}$

③ 決算となっても不一致の原因が判明しない時

ケース1 借方残 $\frac{現金過不足}{\text{斜線}}$ ⇒ 雑損失 $\frac{XX}{1万}$ / 現金過不足 $\frac{XX}{1万}$
↳ 営業外費用

ケース2 貸方残 $\frac{現金過不足}{\text{斜線}}$ ⇒ 現金過不足 $\frac{XX}{2万}$ / 雑益 $\frac{XX}{2万}$
↳ 営業外収益

Point 4 現金%の評価

1. 邦貨 ... 問題とならない

2. 外貨 ... 換算替が必要 → 詳しくはゼロVの外貨換算会計で。

cf. 換算とは ... 測定尺度の変更

期中 100ドル $\xrightarrow{\frac{100}{100\text{円/ドル}}}$ 10,000円

期末 100ドル $\xrightarrow{\frac{105}{105\text{円/ドル}}}$ 10,500円

コース名	ゼ ン コ ー ス
科目名	簿 記
回数	回

5	枚中	4	枚目
サイン	井ノ川		

第2章 預金

Point 1 預金の範囲

- 簿記上、預金%で処理されるもの
(代表例) ① 当座預金
 ② 別段預金
- 簿記上、預金%で処理されないもの
(代表例) ① 投資信託証券
 ② 貸付信託受益証券 } どちらも有価証券%で処理される。

Point 2 特殊な小切手の処理

- 先日付小切手... 受取手形%
- 不渡小切手... 現金回収ができなくなった小切手(不渡手形)
- 自己振出小切手... 当座預金%で処理 (他人振出小切手と区別)
- 未渡小切手... { ケース1 相手%が負債 → 反対仕訳でOK
 { ケース2 相手%が費用 → 未払金%で処理
- 未取立小切手... { いおれも } 当社は何り会計処理不要
- 未取付小切手... { 銀行側の問題 } ↑

Point 3 当座借越

- 二勘定制(当座預金%と当座借越%)

当座預金		当座借越	
100	100		20

- 一勘定制(当座%のみ使用)

当座	
100	120

コース名	ゼ"ロI	コース
科目名	簿記	
回数		回

5	枚中	5	枚目
サイン	井川		

Point 4 銀行勘定調整表

1. 作成方法

① 企業残高基準調整表

<スタート> <ゴール>
企業残高 $\xrightarrow{+-}$ 銀行残高

② 銀行残高基準調整表

<スタート> <ゴール>
銀行残高 $\xrightarrow{+-}$ 企業残高

③ 企業残高, 銀行残高区分調整表

<スタート>	企業残高	XX 10万	銀行残高	XX 18万	
	加算	+ XX 9万	加算	+ XX 0万	
	減算	- XX 4万	減算	- XX 3万	
		XX 15万		XX 15万	<ゴール>
企業が仕訳を行う部分			一致		
			総価額		

2. 会計処理

前記 1 ③ の 部分のみを処理すればよい。
(= 企業が仕訳を行う部分)

ex)

① 未渡小切手 90,000円があった。(掛代金)

当座預金 90,000 / 買掛金 90,000

② 未取付小切手 30,000円があった。

仕訳なし ✖

③ 光熱費 40,000円が自動引落しされたが未通知。

光熱費 40,000 / 当座預金 40,000

—以上—